

2024（令和6）年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1495000398	事業の開始年月日	平成26年4月1日
		指定年月日	平成26年4月1日
法人名	株式会社 ケア		
事業所名	グループホーム 殿町		
所在地	( 210-0821 ) 神奈川県川崎市川崎区殿町 2丁目14-11		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	27名 ユニット数 3 ユニット
自己評価作成日	令和7年2月9日	評価結果 市町村受理日	令和7年5月9日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

楽しく過ごせる空間 家族のように明るく楽しい場所にしたいと考えています。職員一人一人が個性を生かし学び、より良い介護が出来る環境を目指していますご利用者様の出来る力に着目し出来る事は自分でして頂く、季節感のある工作の作成や手作りおやつ作り、食レク等を行事に取り入れ一緒にお菓子や料理を作ったり好きな事を探し、職員共々楽しめる空間づくりを心掛けています。心地よい生活が出来るように支援しています。ご利用者様それぞれの安心できる出来る場所にしていきたいと思ひます。

この地域で生活するという意識を持っていただけるよう町内会の催しに積極的に参加しています。大家族で生活しているという考え方のもとで個人の能力を生活に活かす個人に合った生活が出来るよう努めています。

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル 3階		
訪問調査日	令和7年3月18日	評価機関 評価決定日	令和7年4月22日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は京急大師線「小島新田」駅から徒歩約7分位の所にある木造2階建ての建物です。工場や住宅が混在し、近くに公園、こども文化センター、小学校があります。

<優れている点>

利用者が自分の家として、安心して過ごせるよう職員は笑顔で日々の暮らしを支援しています。家庭的でゆったりした環境の中で、自分で出来ることは自分で行い、過剰な介護は避け、利用者の残存能力を引き出すように働きかけています。洗濯物たたみや食事の片付け、テーブル拭きなど出来る範囲での役割を持ち、職員と一緒にしながら利用者一人ひとりの持つ力を活かし自分らしさの実感や、生活の張合いや自信につなげ支援をしています。また、職員が工夫して手作りの食事を提供しています。冷凍、冷蔵の食材を取り寄せ、職員も利用者と一緒に同じ食事を食べるなど食事の時間を大切にしています。毎月、利用者の希望するメニューを取り入れた食事レクリエーションを行っています。餃子やハンバーグの他、外国籍職員のお国自慢料理を利用者と一緒に作り、普段触れる機会の少ない外国の食文化を味わう機会を設けています。外国籍職員とのコミュニケーションにも繋がっています。

<工夫点>

複数の外国籍職員の育成に力を入れています。事業所で月に数回日本語の勉強会を設けたり、介護福祉士の受験勉強会も開催しています。初任者研修修了者もいます。日本語での電話の対応も出来るようになど、事業所全体の質の向上に努めています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム 殿町
ユニット名	殿町1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「笑顔」がテーマとなっており、安心・安全の生活が送れる様に心掛けています。理念はキッチンや事務所に提示し職員同士もあいさつを大切にしています笑顔が利用者様の笑顔を生み、自然に笑顔のケアを実践しています。	事業所理念の「安心して笑顔あふれるフロア」を事務所や、フロア、キッチンに掲示し、すぐ目に入るようにしています。会議などでも理念を共有し、笑顔で利用者と向き合い、温もりとふれあいを大切に家族のように暮らしています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会や商店に出向き、地域行事には積極的に参加しています。近くの公園の児童施設の祭りにご利用者と参加しました。	町内会に加入しています。近隣の散歩や買物の際に積極的に挨拶を交わしています。町内会の盆踊りに利用者は浴衣を着て、職員と一緒に参加しています。近くの児童館の祭りにも参加し、懐かしい綿菓子や焼きを食べるなど、楽しむ機会を設けています。	コロナ禍以降途絶えていた事業所の行事に近隣住民を招待し、地域と積極的に交流することが期待されます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議では地域包括の方をお招きしSOSネットワークの活用や情報交換や地域で1人暮らしされている認知症の人がいたら声掛けできるように散歩の時にはご近所の方へのあいさつをしたり小さなことから取り組めるようにしています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1度、現状報告・研修の開催で地域連携し意見交換をしています。アドバイスは積極的に取り入れ、常にサービスの質の向上に繋げています。	地域包括支援センター職員や町内会婦人部、利用者、家族、法人の部長、近隣の同一法人4事業所のリーダーなどの参加を得て2ヶ月に1回合同開催をしています。事業所の運営状況や活動報告を行い、地域からの情報を得ています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括と連絡を取ったり近くの老人ホームの方から連絡があり徘徊がすごくなくなってしまったり等、相談されることがあります。	介護サービスの質の向上のため川崎市が行っている「かわさき健幸福寿プロジェクト」に参加しています。緊急を要する困難事例の入居依頼があった際には、空き部屋がある場合は即入居を検討しています。行政関連の情報はメールで入手しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	拘束廃止委員会による身体拘束を行わないケアを実践するように研修・指導を行っています。身体拘束マニュアルを作成し拘束のない介護の話し合いを各ユニットで3ヶ月に1回行っています。	身体拘束の弊害を認識し、拘束のない介護を実践するため「身体拘束等の適正化の為の指針」を整備しています。身体拘束廃止委員会を2ヶ月に1回開催し、スピーチロックなどの禁止言葉の具体例などを話し合い、議事録を職員に周知しています。年2回研修を行い身体拘束排除の意識を高めています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内研修・施設内委員会での勉強会、マニュアル作成配布での情報共有。虐待について全職員が理解し虐待防止を徹底しています。	虐待防止マニュアルで研修をしています。自己点検シートを活用し、日頃の接遇、言葉かけなど心理的な虐待はないか振り返りを行っています。会議で繰り返し情報を共有し、虐待の兆候を見逃さないようにしています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	今年には行っていないが過去に研修を行った。また開催したいと思う。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約・解約に関しては手順に添って説明を十分に行い理解・納得して頂けるように努めています。改定がある場合は案内文の送付後個々に説明し同意を頂いています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	毎月、家族宛に送るお便りに行事報告書・予定等を記載し、御家族の来訪時には、話し易い雰囲気作り努め意見や要望等を伺い対応しサービスの向上をを目指しています。御利用者様の生活ぶり・健康面等もしっかり伝えていきます。	毎月家族宛てに発行しているイベントの様子のカラー写真満載の便りに予定や行事を記載しています。来訪時や電話の際には利用者の生活ぶりや健康面について情報を共有しています。家族の意見は個人的なものが多く、一緒に考えながら最善の方法を検討しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	運営会議マネージャー会議外国人会議会議を毎月開催して意見交換・企画提案等サービスの向上に努めています。職員からみた（状況・状態）自由に意見を述べる事のできる場を作っています。	毎月開催している会議の中で自由に意見を述べられる環境を整えています。イベントの企画の提案や、困難事例の支援方法の勉強会などに反映しています。職員から棚の設置希望の意見を反映したことから、整理整頓がしやすくなった事例があります。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に一度、実績や努力に対して給料の見直しを行っています。資格所得制度（外部研修・勉強会）があり向上心を持って働く事ができるよう努力しています。自社でも初任者研修がとれるようになり講師活動も楽しみながらやっています。	有給休暇の取得希望を取り入れています。家族や個人の事情を考慮してシフトを組んでいます。近隣に同一法人の4事業所と連携を取り、職員の当日欠員の際にも連携し、人員の確保に繋げています。急な状況でも無理をせず安心して休みを取得することができます。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修・勉強会を実施。外部研修・資格所得制度を受ける機会を設け働きながらスキルアップできるように技術の向上・自己覚知に努めています。	新人職員対応の新人職員マニュアルがあり、OJT体制を取り、1対1でケアの技術や利用者との関わり方について1ヶ月間位丁寧に指導をしています。資格取得制度があり、法人で開催している初任者研修は無料で受講できます。実務者研修も出勤扱いで受講することができる制度があります。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	実習生の受け入れを行い日本語勉強会を実施外国人会議は月1回行う。サンマツサージとの拘縮がある方の移乗の仕方の勉強会、薬局との服薬を間違えない為の薬の名前の表記の変更して頂いたり様々な日ごろに起こりえる事象に備えています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	御本人の思い・要望を傾聴する。御本人、御家族、病院、利用されていたサービス事務所からの情報をもとにサービスの中に反映できるように努めています。信頼関係を築き安心できる環境作りを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	御本人・御家族がどのような生活を望んでいるか要望を伺い、御家族が困っている事、不安に思っている事に耳を傾け信頼関係を築いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前情報をもとに、御本人や御家族の意見を取り入れ、安心して暮らせる介護計画を制作し対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	今までの生活環境を念頭に入れ、身体介護以外の部分では、日々の生活の中でお手伝い、季節の壁飾り制作など役割をもって頂き、楽しみ・悲しみを共感出来る様にしています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	毎月のお便りで生活状況をお知らせして、日頃から何でも話しやすい雰囲気作りを心掛けています。御家族の参加行事を行い、利用者・家族・職員の信頼関係が築けるよう努めています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御利用者様の馴染みある方に連絡・年賀状のやり取りをお手伝いしたり、面会・外出・外泊も可能な限り行って頂けるように支援しています。	昔の友人や家族に電話をして継続的に交流している利用者がいます。何十年通い続けた馴染みの美容院に髪染めに通う利用者もいます。墓参りや、親戚同士の会食に行くなど、これまでの生活上の馴染みの関係性が継続できるように支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者同士の関係性や個々の性格を把握した上でお手伝い・レクリエーションなど同席可能かを配慮し楽しい時間の共有を図れるよう努めています。合同の行事等で他のユニットとの関りもあります。職員間しっかり情報共有を行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も相談等の対応や必要な支援の情報提供を行っています。ホーム近隣の病院に入院されている方には、折を見てお見舞いに出かけています。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御本人・御家族から今までの生活環境・希望・意向を聴き、日々の生活の中で思いや希望を探ります。意思表示されない方は、表情や行動を観察し、希望や意向の把握に努めます。得た情報は職員間で共有しています。	傾聴を基本に利用者との会話を多く持ち、その反応から何を望んでいるのかを考えながら把握に努めています。飲み物の選択肢などを提示し、日常から利用者の希望を引き出すようにしています。利用者が自分の気持ちを発信し、自己決定する機会が多く持てるように支援をしています。情報は会議などで共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	在宅からの御利用者様は情報提供して頂き少しでも日常生活に近い支援を取り入れてます。入院後の御利用者様は情報が激しく違う事が多い為、病院・御家族様とのカンファレンスを持ち職員共用で、その人らしく暮らせるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	その人らしい生活歴・ルーツを把握し一人ひとりを尊重し、心身状態の把握に努めると共に、家事・レクリエーション・作業の配分を工夫したりと一日の過ごし方を考えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	月に1回のモニタリングと6ヶ月に1度の介護計画の見直しを行っています。御本人・御家族様の意向・要望、医療関係者との話し合い等をミーティング課題にあげケアの在り方を決め援助・支援しています。	毎月モニタリングを行い、普段からの気づきや課題を反映し、介護計画を作成しています。状態に変化がみられた時は随時、計画を見直しています。「自分でできる事はしたい」など本人の希望や家族の意見を反映した介護計画となっています。「調理を手伝う」などiADL（手段的日常生活動作）の維持・向上などの計画も取り入れています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別に日々の様子・気付いた事、言動やそれに対する対応を個人記録に記入、朝・夕の申し送り等で情報共有しながら実績や介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ケアプラン上にはない支援が必要になった場合、最も良いと思われる支援を選択し状況に応じて柔軟な対応が出来るよう取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	天気の良い日は近隣を散歩・買い物に出掛けています。地域の方との触れ合いも増え、町内会の盆踊り・草むしり等に誘って頂き外に出る楽しみが更に増えました。訪問理美容・マッサージ・ボランティアなど暮らしの中に取り入れています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	御家族の選ばれた訪問医師(内科・精神科・歯科)で定期的な往診があります。病や薬のカンファレンス・緊急時など主治医と疎通が密に取れ重度化に伴い不安が減少されています。(外来は家族対応ですが状況に応じ職員が付き添います)	利用者全員が24時間対応の内科、精神科、皮膚科の協力医の訪問診療を受診しています。訪問歯科は希望者が受診し、眼科などの専門医の受診は家族や職員が同行しています。受診結果は専用ノートやSNSを活用し共有しています。看護師が勤務し健康観察や痰吸引などを行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	生活の中で気になる事、御利用者様が心配されている事など、看護職員と連携を取り主治医への伝達となって下さり、相談しやすく、回答を頂けるため心強いです。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の調整は主治医と医療機関の相談員と密に連絡を取り合いスムーズな支援を目指しています。退院の受け入れとしてカンファレンスを希望しホームに戻ってからの注意点や指導を受けています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医・御家族とのカンファレンスを持ち、全職員が意向など認識し支援しています。医療計画を聴き退院時の受け入れ、重度化に対し段階的に取り組めるよう知識と経験を踏んでいます。	契約時に重度化や終末期についての指針を提示し家族に話をしています。医師が終末期と判断した際は、医師の説明のもと、医師、家族などと事業所の三者で話し合っています。これまでに数名を看取っています。職員の不安解消や家族の対応を考慮し、グリーフケアの研修に取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	意識確認始まり研修・講習会に参加し報告・実施出来るようシミュレーションで身に付けています。緊急マニュアルあり。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署協力の下、年2回の避難訓練・夜間想定での避難訓練を実施。スプリンクラー装備。地域への協力と訓練時近隣の方々への参加をお願いしています。非常時の飲食を備蓄しています。	年4回火災などを想定した避難及び心肺蘇生などの訓練を隣接の同一法人事業所と合同で行っています。非常用階段避難車を備えています。水害時の危険度を把握し、カセットコンロや水、缶詰、米などを備蓄しています。自然災害、感染症の業務継続計画を作成しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	常に年配者に敬意を払い、信頼関係を築いた上で一人ひとりの人格の尊重を徹底しています。職員同士の会話には、特に注意し不要に個人に関する内容は発しないよう注意がけています。	利用者一人ひとりに応じた言葉かけをしています。羞恥心に配慮し入浴時は脱衣後すぐバスタオルで体を覆い、排泄時は扉を閉める対応をしています。個人情報を守られることを契約書に明示し、写真などのSNSへの配信は家族などから許可を得て行っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	その人に合う選択しやすい声掛け・質問を心掛けています。うまく伝わらない時は、ゆっくり反応を見ながら対応します。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	天気の良い日には、ご本人様の希望で散歩・買物に出かけます。体調に問題なければ就寝時間が多少ずれても将棋や趣味の時間にあてる方もおられます。ご本人様の気持ちを優先します。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時は鏡の前で整容に気を配っています。衣装や持ち物などはご本人様に選んで頂きます。訪問理美容が2ヶ月に1回ありますが、ご本人様の希望で馴染みの美容院に行かれる方もいます。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備や片付けまで御利用者様と一緒にに行っています。会話の中で何が食べたいか聞き取りを行いレクリエーションなどで実現できるようにしています。食に関するイベントを毎月入れ食べる事を楽しんでいます。	栄養値が把握できる専門業者からの食材を使用し、食事形態や嗜好に対応して職員が調理しています。利用者が食事の準備や片付けに関わっています。外国籍の職員が作るお国自慢の食レクリエーションやたこ焼きなどを作るおやつレクリエーションを催し、食事が楽しめる工夫をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養士によるバランスの取れた食事を提供しています。咀嚼・嚥下の低下でのミキサー食であったりと、その方の状態を踏まえ支援しています。食事量と水分量は生活記録に毎度記入しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアの声掛けし見守ります。自力で出来ない御利用者様は介助にて口腔ケアを行います。訪問歯科（毎週木曜日）と連携しています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を用いて排泄パターン・体調を一人ひとり把握しています。トイレに間に合うよう声掛けや誘導を行い、トイレでの排泄を可能な限り支援しています。	排泄表や利用者の落ち着かない様子などを捉えて誘導し、トイレでの排泄に繋がっています。立位が保たれ排泄の自立が継続できるよう歩行訓練や訪問マッサージを導入しています。パッドの大きさや厚みに配慮して快適に過ごせるよう努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	朝のラジオ体操や近隣の散歩など体を動かす事を第一に取り組んでいます。運動が困難な御利用者様にはバナナや乳製品など飲食物での予防に気を付けています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴を楽しんで頂けるよう好みの入浴剤を選んで頂いています(個人の持ち込みOK)拒否のある方には声掛けを工夫したり、入浴日を変更します。職員も介助中に歌や会話を楽しみ支援する事を心掛けています。	各ユニットにシャワーキャリーリフトがあり浴槽を跨げない人でも湯船に浸かり、リラックスできるよう支援しています。入浴を拒む理由が「風呂」の言葉であると把握し、「足のむくみを見ましようか」と自然な流れを意識して促し、入浴に繋がっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりの生活パターンを把握し安心して睡眠がとれるよう支援しています。日中は活動し、夜間はゆっくり過ごせるようメリハリある生活を心掛けています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	内服薬の変更・臨時薬など指示通り責任を持って行っています。薬局の1包化・名前・日付入りになりフリガナもある為安心して服用できています。服薬のセットは必ず複数で行い、服用時は名前を呼び上げ再確認。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人ひとりの出来る事・好きな事・やりたい事を把握して、その人に合った生活の中での役割・活動が出来るよう支張りのある生活が送れるように支援します。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩・買物・外食など外出レクを増やし季節感を楽しんだり、草むしりなど地域のイベントに参加させて頂き気分転換・ストレス発散になっています。御家族との外出希望にも対応しています。	事業所の車を使用し、車いす利用者も初詣や花見などに出かけています。日常的に公園への散歩やコンビニエンスストアでの買物へ行っています。家族と正月に自宅に寄ったり外食や美容院などに出かけています。外気浴を兼ねて洗濯物干しや取り込みを行い、気分転換しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	御家族の承知のもとホームでお預かりしています。御本人様の希望する物品と一緒に出掛け購入することもあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御家族からの電話には出来るだけ出てお話しして頂き、希望があればこちらから電話を掛ける事も行います。暑中見舞い・年賀状のやり取りが続けられるような支援も行っています。携帯電話を持っている方もいらっしゃいます。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロアの飾り付けは御利用者様と作成した貼り絵・塗り絵・季節やイベント事に変えていき楽しんでいきます。車椅子・歩行器でも安心して移動できるように同線を確認した家具の配置を心掛け綺麗な環境で、気持ち良くゆっくり過ごせるように取り組んでいます。	コロナ禍以降も継続して換気に配慮し、加湿器を設置しています。光に敏感でサングラスをかけている人がおり日差しに配慮しています。体操などがよく見えるよう大型テレビを設置しています。毎月季節の行事などに合わせたカレンダーを皆で作成し、季節を感じとれるようにしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	御自分の席で雑談されたり、テレビ・DVDを観られ楽しまれたりと、利用者様同士が気兼ねせずリラックスした雰囲気を大切に自由にご過ごしています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には使い慣れた家具を持ち込んで頂き、馴染みある物に囲まれ、心地良い空間を作る工夫をしています。レクリエーションの作品等もご本人と相談して飾っています。	事業所ではエアコン、照明、クローゼット、ベッド、カーテンを備えています。間接照明器具、整理ダンス、ぬいぐるみ、テレビなどが持ち込まれています。動線を確保するため持ち込み品の少ない居室もあります。利用者それぞれに個性のあるくつろげる居室となっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室前には表札(大きく名前)・トイレ・など共用空間にも見てわかる様に大きく貼ってあります。要所には手すりを設置し安全に安心して生活が送れるよう声掛けも必要ですが、見守り重視、自ら行動出来るよう支援しています。		

事業所名	グループホーム 殿町
ユニット名	殿町2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「笑顔」がテーマとなっており、安心・安全の生活が送れる様に心掛けています。理念はキッチンや事務所に提示し職員同士もあいさつを大切にしています笑顔が利用者様の笑顔を生み、自然に笑顔のケアを実践しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会や商店に出向き、地域行事には積極的に参加しています。近くの公園の児童施設の祭りにご利用者様と参加しました。町内会の草刈や盆踊りにも参加しています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議では地域包括の方をお招きしSOSネットワークの活用の情報交換や地域で1人暮らしされている認知症の人がいたら声掛けできるように散歩の時にはご近所の方へのあいさつをしたり小さなことから取り組めるように		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1度、現状報告・研修の開催で地域連携し意見交換をしています。アドバイスは積極的に取り入れ、常にサービスの質の向上に繋げています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括と連絡を取ったり近くの老人ホームの方から連絡があり徘徊がすくなってしまう等、相談されることがあります		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	拘束廃止委員会による身体拘束を行わないケアを実践するように研修・指導を行っています。身体拘束マニュアルを作成し拘束のない介護の話し合いを各ユニットで3ヶ月に1回行っています。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内研修・施設内委員会での勉強会、マニュアル作成配布での情報共有。虐待について全職員が理解し虐待防止を徹底しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	今年には行っていないが過去に研修を行った。また開催したいと思う		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約・解約に関しては手順に添って説明を十分に行い理解・納得して頂けるように努めています。改定がある場合は案内文の送付後個々に説明し同意を頂いています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	毎月、家族宛に送るお便りに行事報告書・予定等を記載し、御家族の来訪時には、話し易い雰囲気作り努め意見や要望等を伺い対応しサービスの向上を目指しています。御利用者様の生活ぶり・健康面等もしっかり伝えていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	グループホーム会議・全体会議を毎月開催して意見交換・企画提案等サービスの向上に努めています。職員からみた（状況・状態）自由に意見を述べる事のできる場を作っています。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に一度、実績や努力に対して給料の見直しを行っています。資格所得制度（外部研修・勉強会）があり向上心を持って働く事ができるよう努力しています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修・勉強会を実施。初任者研修も自社で行う取り組みを始め外部研修・資格所得制度を受ける機会を設け働きながらスキルアップできるように技術の向上・自己覚知に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	実習生の受け入れを行い日本語勉強会を実施外国人会議は月1回行う。サンマッサージとの拘縮がある方の移乗の仕方の勉強会、薬局との服薬を間違えない為の薬の名前の表記の変更して頂いたり様々な日ごろに起こりえる事象に備えています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	御本人の思い・要望を傾聴する。御本人、御家族、病院、利用されていたサービス事務所からの情報をもとにサービスの中に反映できるように努めています。信頼関係を築き安心できる環境作りを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	御本人・御家族がどのような生活を望んでいるか要望を伺い、御家族が困っている事、不安に思っている事に耳を傾け信頼関係を築いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前情報をもとに、御本人や御家族の意見を取り入れ、安心して暮らせる介護計画を制作し対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	今までの生活環境を念頭に入れ、身体介護以外の部分では、日々の生活の中でお手伝い、季節の壁飾り制作など役割をもって頂き、楽しみ・悲しみを共感出来る様にしています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	毎月のお便りで生活状況をお知らせして、日頃から何でも話しやすい雰囲気作りを心掛けています。御家族の参加行事を行い、利用者・家族・職員の信頼関係が築けるよう努めています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御利用者様の馴染みある方に連絡・年賀状のやり取りをお手伝いしたり、面会・外出・外泊も可能な限り行って頂けるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者同士の関係性や個々の性格を把握した上でお手伝い・レクリエーションなど同席可能かを配慮し楽しい時間の共有を図れるよう努めています。合同の行事等で他のユニットとの関りもあります。職員間しっかり情報共有を行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も相談等の対応や必要な支援の情報提供を行っています。ホーム近隣の病院に入院されている方には、折を見てお見舞いに出かけています。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御本人・御家族から今までの生活環境・希望・意向を聴き、日々の生活の中で思いや希望を探ります。意思表示されない方は、表情や行動を観察し、希望や意向の把握に努めます。得た情報は職員間で共用しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	在宅からの御利用者様は情報提供して頂き少しでも日常生活に近い支援を取り入れています。入院後の御利用者様は情報が激しく違う事が多い為、病院・御家族様とのカンファレンスを持ち職員共用で、その人らしく暮らせるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	その人らしい生活歴・ルーツを把握し一人ひとりを尊重し、心身状態の把握に努めると共に、家事・レクリエーション・作業の配分を工夫したりと一日の過ごし方を考えています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	月に1回のモニタリングと6ヶ月に1度の介護計画の見直しを行っています。御本人・御家族様の意向・要望、医療関係者との話し合い等をミーティング課題にあげケアの在り方を決め援助・支援しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別に日々の様子・気付いた事、言動やそれに対する対応を個人記録に記入、朝・夕の申し送り等で情報共有しながら実績や介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ケアプラン上にはない支援が必要になった場合、最も良いと思われる支援を選択し状況に応じて柔軟な対応が出来るよう取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	天気の良い日は近隣を散歩・買い物に出掛けています。地域の方との触れ合いも増え、町内会の盆踊り・草むしり等に誘って頂き外に出る楽しみが更に増えました。訪問理美容・マッサージ・ボランティアなど暮らしの中に取り入れています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	御家族の選ばれた訪問医師(内科・精神科・歯科)で定期的な往診があります。病や薬のアドレス・カンファレンス・緊急時など主治医と疎通が密に取れ重度化に伴い不安が減少されています。(外来は家族対応ですが状況に応じ職員が付き添います)		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	生活の中で気になる事、御利用者様が心配されている事など、看護職員と連携を取り主治医への伝達となり、相談しやすく、回答を頂けるため心強いです。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の調整は主治医と医療機関の相談員と密に連絡を取り合いスムーズな支援を目指しています。退院の受け入れとしてカンファレンスを希望しホームに戻ってからの注意点や指導を受けています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医・御家族とのカンファレンスを持ち、全職員が意向など認識し支援しています。医療計画を聴き退院時の受け入れ、重度化に対し段階的に取り組めるよう知識と経験を踏んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	意識確認始まり研修・講習会に参加し報告・実施出来るようシミュレーションで身に付けています。緊急マニュアルあり。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署協力の下、年2回の避難訓練・夜間想定での避難訓練を実施。スプリンクラー装備。地域への協力と訓練時近隣の方々への参加をお願いしています。非常時の飲食備蓄。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	常に年配者に敬意を払い、信頼関係を築いた上で一人ひとりの人格の尊敬を徹底しています。職員同士の会話には、特に注意し不要に個人に関する内容は発しないよう注意がけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	その人に合う選択しやすい声掛け・質問を心掛けています。うまく伝わらない時は、ゆっくり反応を見ながら対応します。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	天気の良い日には、ご本人様の希望で散歩・買物に出かけます。体調に問題なければ就寝時間が多少ずれても将棋や趣味の時間にあてる方もおられます。ご本人様の気持ちを優先します。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時は鏡の前で整容に気を配っています。衣装や持ち物などはご本人様に選んで頂きます。訪問理美容が2ヶ月に1回ありますが、ご本人様の希望で馴染みの美容院に行かれる方もいます。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備から片付けまで御利用者様と一緒に going しています。同じテーブルで話をしながら大家族のように思えます。食に関するイベントを毎月入れ食べる事を楽しんでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養士によるバランスの取れた食事を提供しています。咀嚼・嚥下の低下でのミキサー食であったりと、その方の状態を踏まえ支援しています。食事量と水分量は生活記録に毎度記入しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアの声掛けし見守ります。自力で出来ない御利用者様は介助にて口腔ケアを行います。訪問歯科（毎週木曜日）と連携しています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を用いて排泄パターン・体調を一人ひとり把握しています。トイレに間に合うよう声掛けや誘導を行い、トイレでの排泄を可能な限り支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	朝のラジオ体操や近隣の散歩など体を動かす事を第一に取り組んでいます。運動が困難な御利用者様にはバナナや乳製品など飲食物での予防に気を付けています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴を楽しんで頂けるよう好みの入浴剤を選んで頂いてます。拒否のある方には声掛けを工夫をしたり、入浴日を変更します。職員も介助中に歌や会話を楽しみ支援する事を心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりの生活パターンを把握し安心して睡眠がとれるよう支援しています。日中は活動し、夜間はゆっくり過ごせるようメリハリある生活を心掛けています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	内服薬の変更・臨時薬など指示通り責任を持って行っています。薬局の1包化・名前・日付印になり安心して服用できています。服薬のセットは必ず複数で行い、服用時は名前を呼び上げ再確認。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人ひとりの出来る事・好きな事・やりたい事を把握して、その人に合った生活の中での役割・活動が出来るよう支張りのある生活が送れるように支援します。洗濯物は毎日職員と一緒に干しに行きます。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩・買物・外食など外出レクを増やし季節感を楽しんだり、草むしりなど地域のイベントに参加させて頂き気分転換・ストレス発散になっています。御家族との外出希望にも対応しています。コンビニと一緒に出掛けることもあります		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	御家族の承知のもとホームでお預かりしています。御本人様の希望する物品と一緒に出掛け購入することもあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御家族からの電話には出来るだけ出てお話しして頂き、希望があればこちらから電話を掛ける事も行います。暑中見舞い・年賀状のやり取りが続けられるような支援も行っています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロアの飾り付けは御利用者様と作成した貼り絵・塗り絵・季節やイベント事に変えていき楽しんでいます。車椅子・歩行器でも安心して移動できるように同線を確保した家具の配置を心掛け綺麗な環境で、気持ち良くゆっくり過ごせるように取組んでいます。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	御自分の席で雑談されたり、テレビ・DVDを観られ楽しまれたりと、利用者様同士が気兼ねせずリラックスした雰囲気大切に自由にご過ごしています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には使い慣れた家具を持ち込んで頂き、馴染みある物に囲まれ、心地良い空間を作る工夫をしています。レクリエーションの作品等もご本人と相談して飾っています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご自身の方を尊重し何が分かりにくいかを考えるようにしています。出来る事に着目し安全に生活出来るように車椅子で自走しやすいように余計なものを置かないように工夫しています		

2024年度

事業所名 グループホーム殿町  
作成日： R7 年 5月 7 日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ渦以降 に途絶えていた事業所の行事に近隣住民との積極的な交流の減少。	近隣の住民の方との積極的な交流を図る。	運営推進会議などで近隣の住民の方たちを招く 積極的に公園の掃除などに参加する。	3ヶ月
2	5	身体拘束委員会の議事録の整理しだれが見ても分かるようにする。	委員会活動は定期的には開催はしているが議事録をきちんと作成していなかった。	会議後の議事録作成。議事録のファイルは身体拘束委員会と虐待委員会との項目分けの徹底。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月